

令和 7 年度 和歌山県立医科大学保健看護学部保健看護学科 卒業生アンケート調査結果

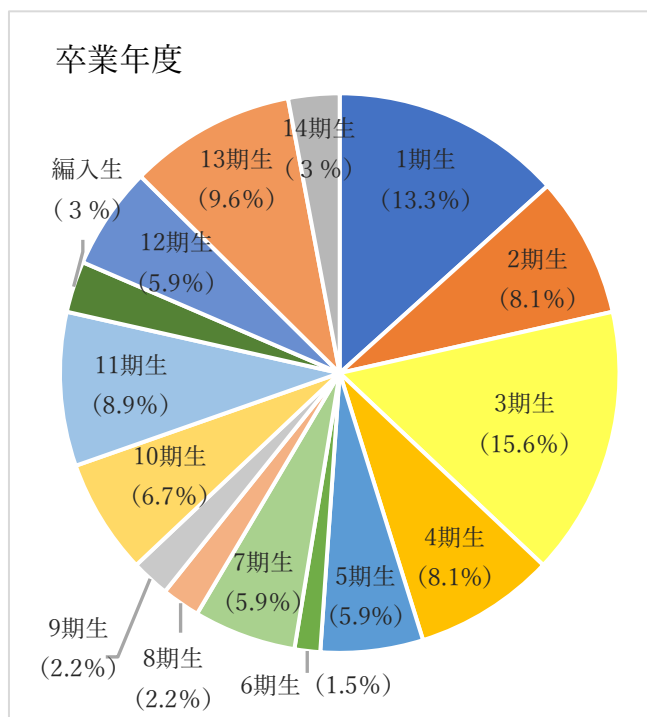
調査概要

- 調査目的 本学部のカリキュラムおよび大学院等の改善に活用
- 調査対象 1 期生（平成 20 年度卒業生）から 17 期生（令和 6 年度卒業生）
- 調査期間 令和 7 年 8 月上旬～令和 8 年 1 月末（締切後、2 月末までで再依頼）
- 調査方法 同窓会 LINE を通じてアンケート調査を依頼。回答は Google フォームを利用。
- 回答率 135／1518（8.9%）

I. あなた自身の職業生活についてお尋ねします。

問1. 卒業年度を教えてください

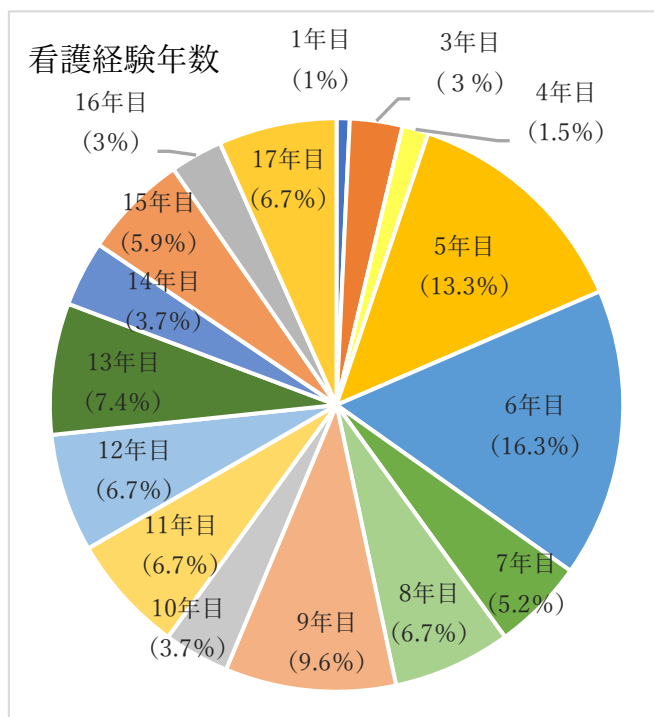
135 件の回答



問2. 看護経験年数を教えてください。

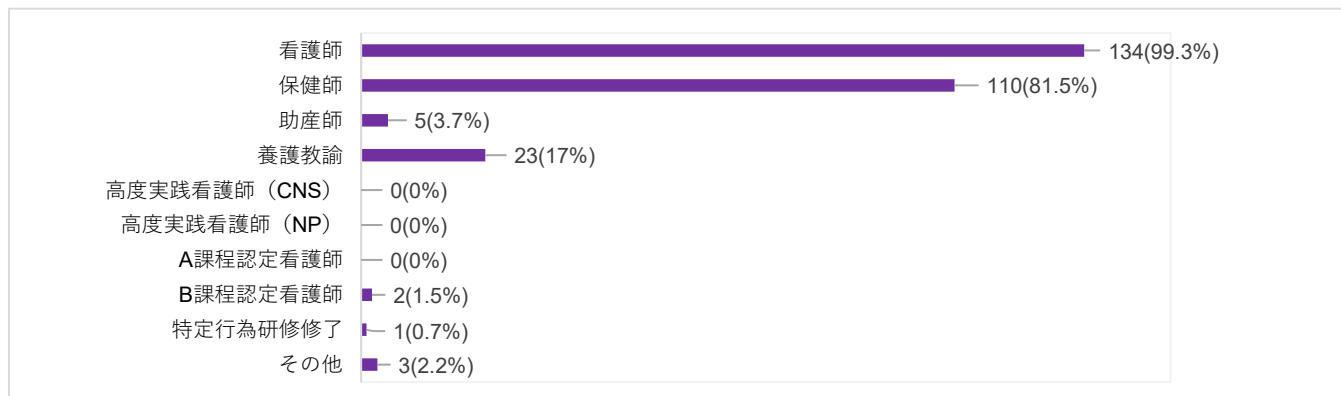
(産休・育休、その他休業していた期間を除く)

135 件の回答



問3. 保有資格を教えてください。(複数回答可)

135 件の回答



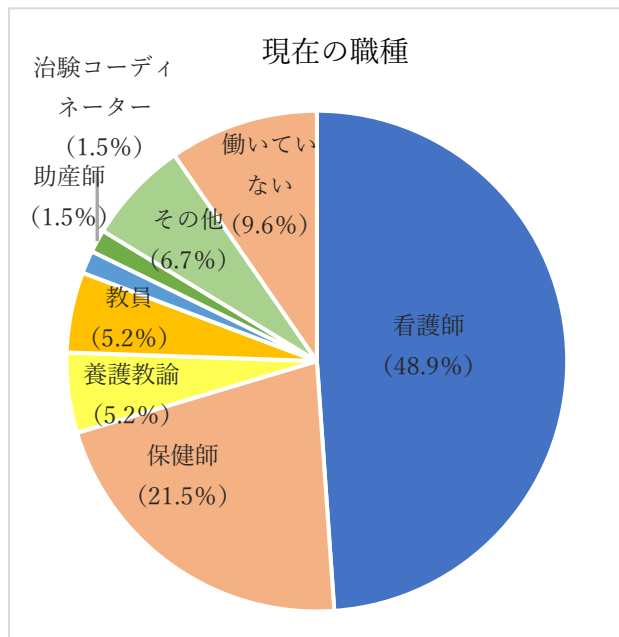
問4. 卒業後に得た資格・学位があれば教えてください。

41 件の回答

- ・博士 (1名)・修士 (15名)・がん放射線療法看護認定看護師 (1名)・クリティカルケア認定看護師 (1名)
- ・糖尿病療養指導士 (2名)・呼吸療法認定士 (認定資格含む) (3名)・産業保健看護専門家登録者 (2名)
- ・GCP パスポート (1名)・公認心理師 (3名)・心理カウンセラー (1名)・精神保健福祉士 (1名)
- ・介護支援専門員 (ケアマネージャー) (3名)・社会福祉士 (1名)・認知症ケア専門士 (1名)
- ・両立支援コーディネーター (1名)・保育士 (1名)・養護教諭一種免許 (1名)・児童指導員 (1名)
- ・衛生管理者 (3名)・健康経営アドバイザー (1名)・民間防災士 (1名)・MOS Word, Excel (1名)
- ・ベビーマッサージ、リトミック、自然なおむつはずしアドバイザー・排便&便秘アドバイザー、

問5. 現時点の主な職種を教えてください。

135 件の回答

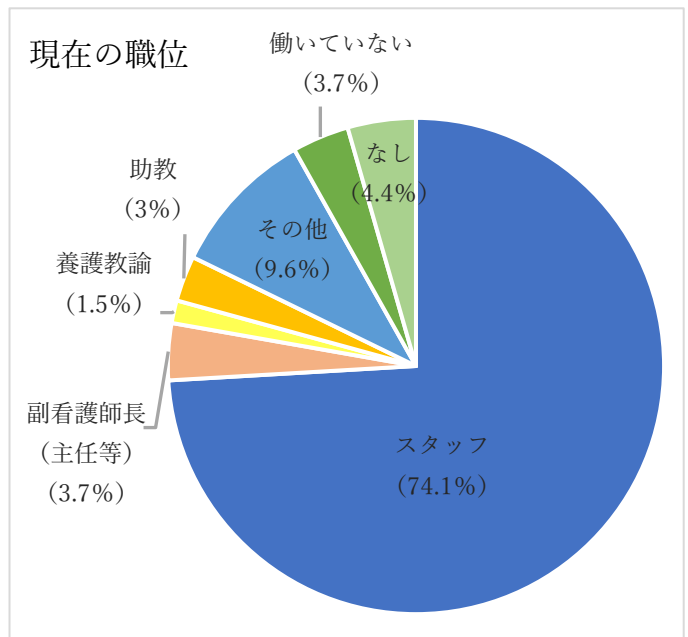


(その他の内訳)

看護師免許要の研究補助員、プログラマー、CRC、製薬会社勤務、大学事務、児童指導員、自営業（果樹園）、他職種

問6. 現在の職位を教えてください。

135 件の回答



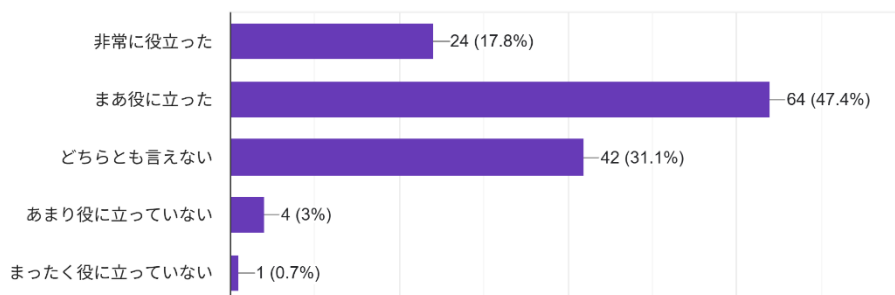
(その他の内訳)

院長、管理者、係長、主査、個人事業主、事務員、嘱託、パート、単発雇用、大学院生、他職種

Ⅱ. 本学の教育成果についてお尋ねします。【教養と人間学の領域】

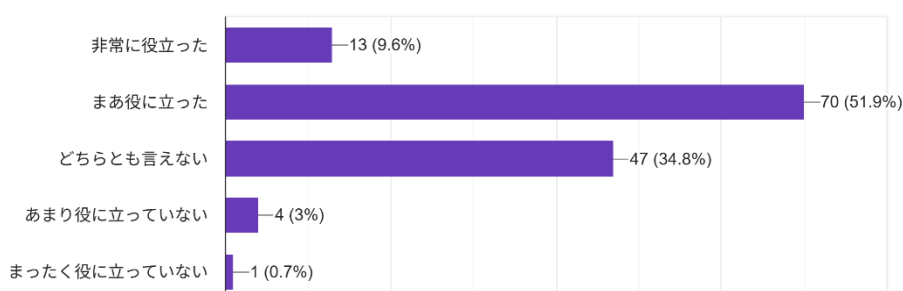
問7. 「人間の理解に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



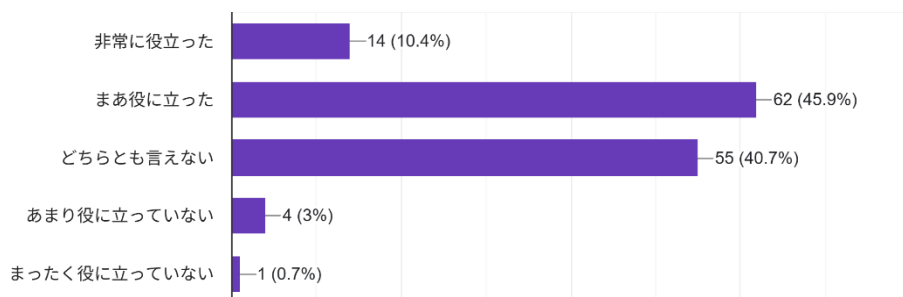
問8. 「社会の理解に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



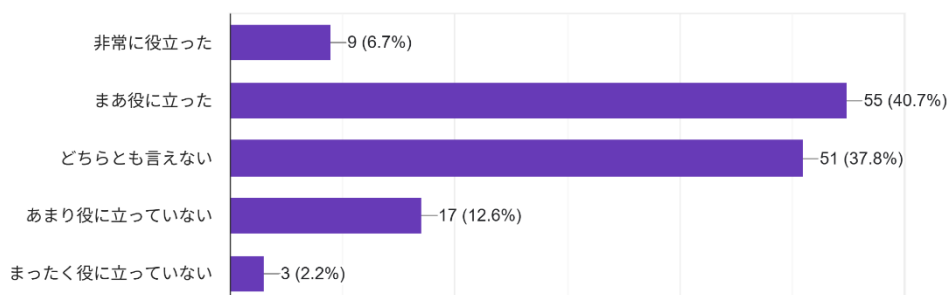
問 9. 「科学の理解に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



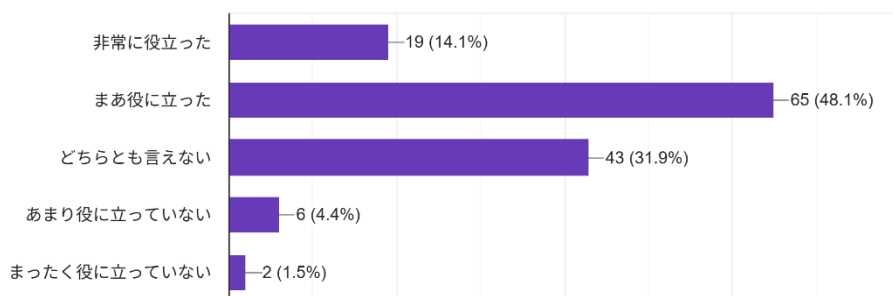
問 10. 「コミュニケーションに関する科目：情報や外国語」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



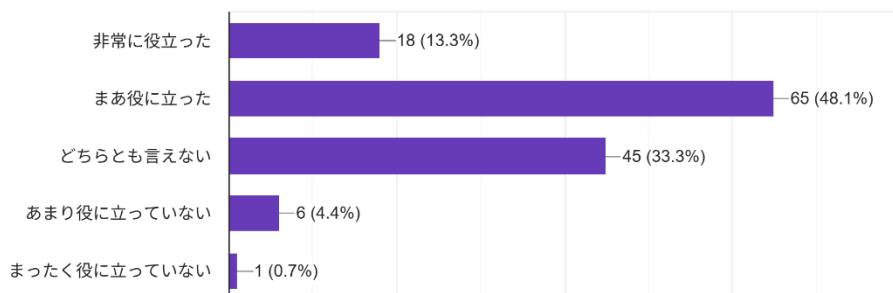
問 11. 「コミュニケーションに関する科目：ケア・マインド教育」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 12. 「教養セミナー」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 13. 【教養と人間学の領域】の授業科目において、特に現在の職業で役に立っていると思う科目は何ですか？
(科目名が分からなければ印象に残っている授業内容などを記載してください)

36 件の回答

- ・教養セミナー (6 件) ・現在の家族問題 (5 件) ・ケアマインド教育 (4 件) ・人と倫理 (2 件)
- ・こころの科学 ・医療コミュニケーション ・食の科学 ・英会話 ・中国語 ・心理学・情報科学
- ・経済学 (社会保障などについての内容だった気がします) ・家族、栄養、コミュニケーションに関する科目
- ・家族について学んだこと、医療単語
- ・家庭内虐待や DV 問題のお話を中心だった授業
- ・パソコンの使い方を情報の時間にしっかり学べたと思う。タイピングもできるようになった。高校までほとんどパソコンを使わない生活をしていたので役に立ちました。
- ・文学で短い小説についての学びは、地域貢献の意味も含めて俳句や川柳、詩を応募する基礎になっています。

問 14. 問 13 で役に立っていると思う理由は何ですか？

【24 件の回答】

教養領域は「看護の専門知識」ではなく、「現場でどう働くか」「どう患者に向き合うか(家族背景の理解・倫理)」ということに役立っていた。

<役にたっている理由>

①対人関係・チーム医療の基盤

<対象科目>教養セミナー、ケア・マインド教育

<具体的な回答>

- ・「カンファレンスなどみんなで話し合う機会が多いので、学生のうちから練習できて良い」
- ・「多職種連携を考えるきっかけとなった」

② 患者・家族の「背景」を理解する視点

<対象科目>現在の家族問題、家庭内虐待・DV、人と倫理、こころの科学、食の科学・経済学

<具体的な回答>

- ・「自分の実家が『普通』だと思いがち。色々な背景を抱える患者・家族と関わる上で大切な講義だった」
- ・「家族を理解出来ていないと対象者の理解ができない」

③ 実務・業務効率を高めるスキル

<対象科目>情報 (パソコン)、医療コミュニケーション、英会話・中国語、文学

<具体的な回答>

- ・ブラインドタッチのおかげで、業務中の記録などリアルタイムにこなすことができる
- ・「短編小説での学びが短文での表現に繋がっている」

問 15. 【教養と人間学の領域】の授業科目に対するご意見をお聞かせください。

(よかった点や改善した方がよい点など)

【23 件の回答】

「看護に直接関係なさそうな教養科目」であっても、卒業生からは「視野を広げ、人としての幅を深める上で非常に有意義だった」と高く評価されている。今後は、従来の座学講義に加えて「グループディスカッション」「お金・コミュニケーション・医療英語といった生活・実践に即したテーマ」を取り入れることで、さらに満足度の高い領域になると考えられる。

① 教養・一般知識の価値

(評価・よかった点)

- ・医療の世界だけではない分野を学ぶことで視野が広がった。
- ・直接役に立つものでなくても、面白いと感じる科目であってよかった。
- ・文学の授業が好きだった。

② 実践スキル・現代的テーマ

(追加・拡充の要望)

- ・実践的なコミュニケーション力や共感力を培える授業があるとよい。
- ・税金やお金にかかる制度についての勉強はあってもいい。
- ・現代の家族問題について考える機会があれば良い。
- ・医療現場で使う英語を学んでおきたかった。

③ 授業形式・教育手法

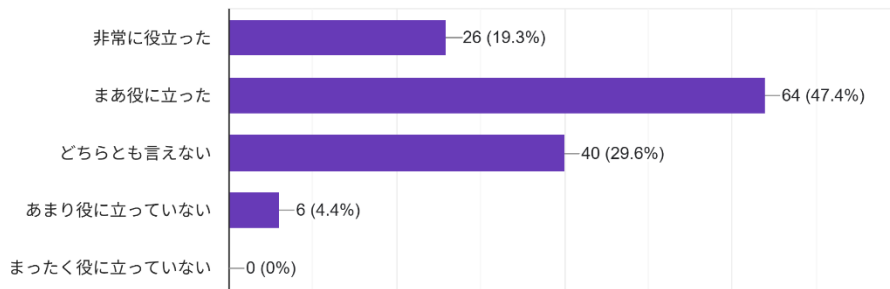
(改善点・提案)

- ・『机上よりも現場』を感じる授業がもっとあっても良かった。
- ・グループワークが入っていれば良かったです。
- ・もっと自主的積極的に参加できる授業がよい。

Ⅲ．本学の教育成果についてお尋ねします。【保健看護学の基盤となる領域】

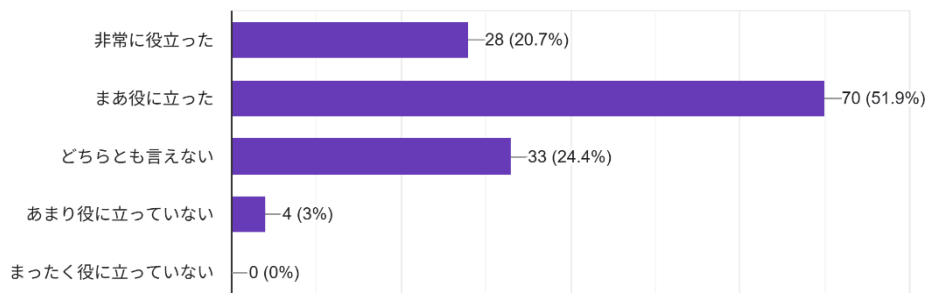
問 16. 「人間と生命倫理に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



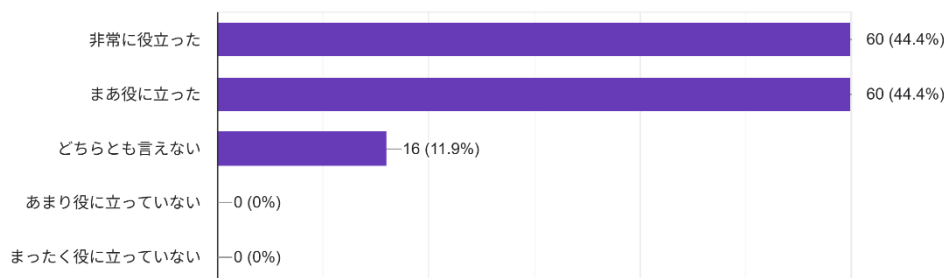
問 17. 「保健と福祉に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 18. 「健康と病態に関する科目」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 19. 【保健看護学の基盤となる領域】の授業科目において、特に現在の職業で役に立っていると思う科目は何ですか？（科目名が分からなければ印象に残っている授業内容などを記載してください）

【31 件の回答】

- ・病態学（6 件） ・発達心理学（5 件） ・身体の構造と機能（6 件） ・急性期病態学（2 件）
- ・健康と病態 ・リハビリテーション ・疫学 ・慢性期病態学 ・基礎看護 ・薬理学 ・解剖学
- ・保健統計学 ・性と生殖 ・心理療法 ・病態の領域 ・終末期医療
- ・全ての科目（特にリハビリ、栄養、スポーツ、発達など）・健康と病態に関する科目全般 ・全領域
- ・身体の構造や病態の授業は覚えています。心電図の読み方、レントゲンからわかることは？とか、症状事例から疑う病名を考える授業が記憶に残っています
- ・学生が受け持ち患者を通して疾患の授業を実施したこと
- ・社会福祉のこと
- ・基本的な、看護とは、という考え方は今も疑問を持ちながら働きます。年齢を重ねれば重ねるほど、深く考えてしまいます。

問 20. 問 19 で役に立っていると思う理由は何ですか？

【29 件の回答】

学生時代には「講義が専門的すぎて難しい」と感じた基盤領域だが、臨床に出てからは「病態や構造がわからないと看護が成り立たない」ということを痛感している。また、単なる暗記にとどまらず、「患者指導に使えるエピソード」や「学生主体の学習体験」として提供された授業が特に役に立っている。

① 医療・ケアの絶対的土台(解剖・病態)

<対象科目> 身体の構造と機能、病態学

<具体的・特徴的な回答>

- ・人体の構造と機能は全ての病気やアセスメントの視点に必要。
- ・医療従事者として病態を理解していないと適切なケアができない。

② 現場・職種での専門的活用(実務・制度・研究)

<対象科目> 発達心理学、薬理学、社会福祉、統計・疫学、終末期／性と生殖

<具体的・特徴的な回答>

- ・発達心理学は乳幼児の発達段階を理解するのに役立った（保健師）。

- ・薬の作用・副作用・代謝が現在の仕事で役立っている。
- ・様々な法律で守られている/制限があることがわかった。

③ 実践的アプローチ・学習法(講義エピソード・指導手法)

<対象科目>リハビリテーション、学生発表型授業

<具体的・特徴的な回答>

- ・『ベッド上は宇宙と同じ』というお話を、患者さんへのリハビリ指導で何度も使わせていただいた。
- ・どうやって学んでいくかのベースになった。

問 21. 【保健看護学の基盤となる領域】の授業科目に対するご意見をお聞かせください。

(よかった点や改善した方がよい点など)

【18 件の回答】

基盤領域(解剖生理・病態学・公衆衛生・統計など)は、看護の土台となる重要科目である一方、「学生時代は実感が湧きにくい」が、臨床や現場に出てからその重要性に気づいている。

<具体的・特徴的な意見>

① 授業構成・教員体制への課題(講義の難易度・形式)

- ・ひとつの器官を扱うのにいろんな講師が現れることが負担だった。
- ・循環器は心電図波形など臨床に結びついた授業を受けたかった。
- ・専門的すぎて授業についていけなかった。

② 授業理解を高めるための工夫・要望(教材・教え方)

- ・福祉関連はドキュメントやドラマなどで身近に感じられる教材があれば良い。
- ・いろんな科の先生から実際に授業を受けれたのが良かった。

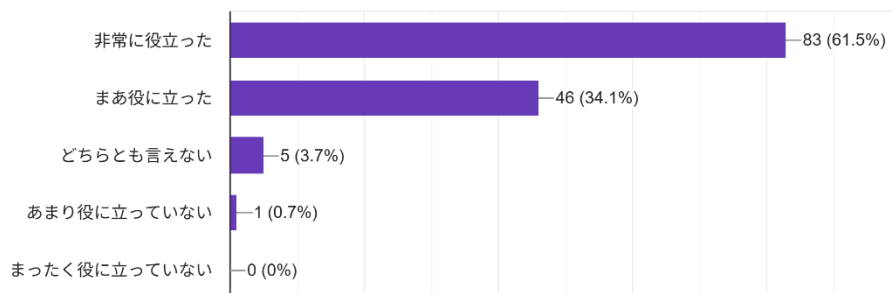
③ 卒後の評価・再学習(学び直し)(臨床での実感)

- ・保健統計学や疫学は実践してみたからこそもう一度学んでみたい。
- ・今振り返るともっと真剣に聞いておけばよかったと後悔する授業ばかり。
- ・観察する力、アセスメントする力の重要性を今でも意識している。

IV. 本学の教育成果についてお尋ねします。【保健看護学の専門となる領域】

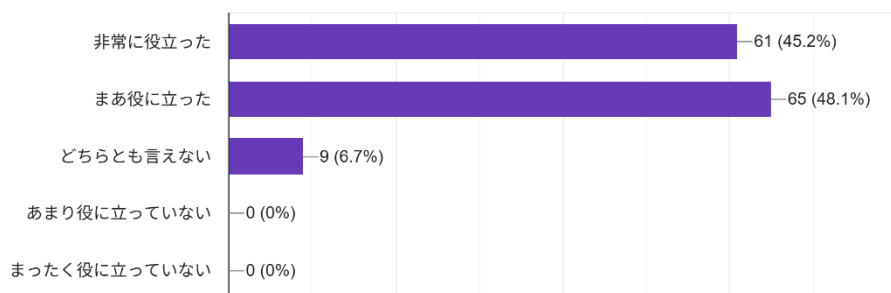
問 22. 「基礎看護」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



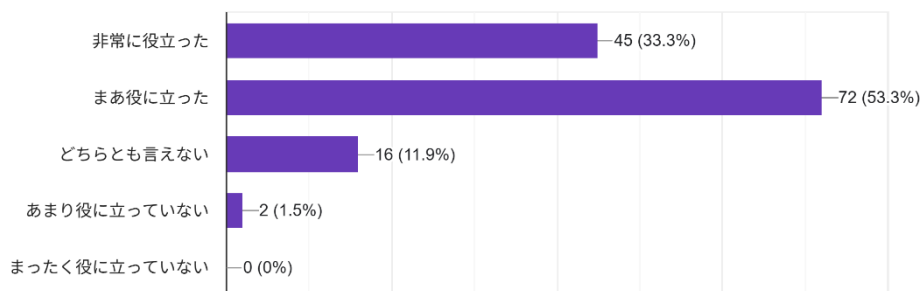
問 23. 「ライフステージと保健看護」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



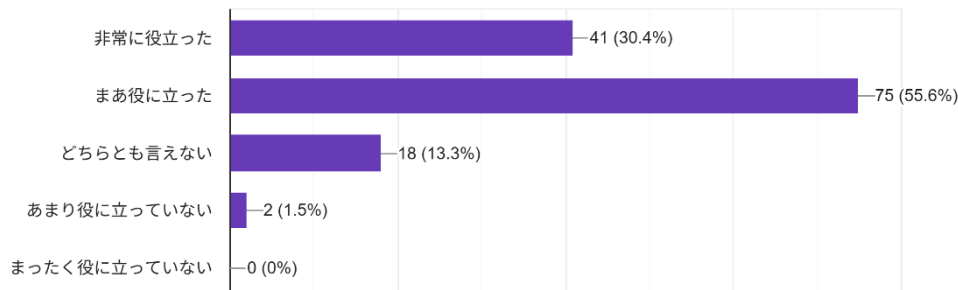
問 24. 「健康障害と保健看護」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



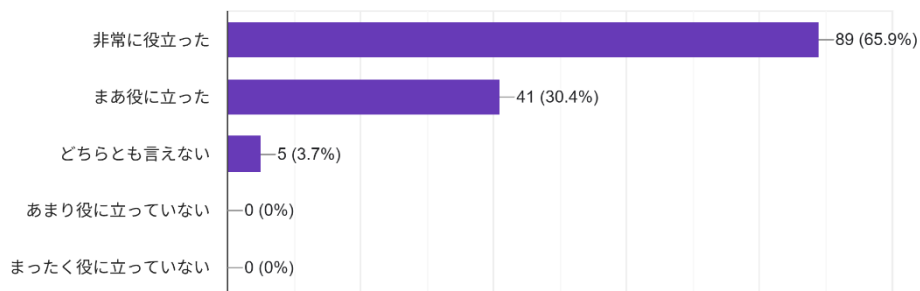
問 25. 「生活と保健看護」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



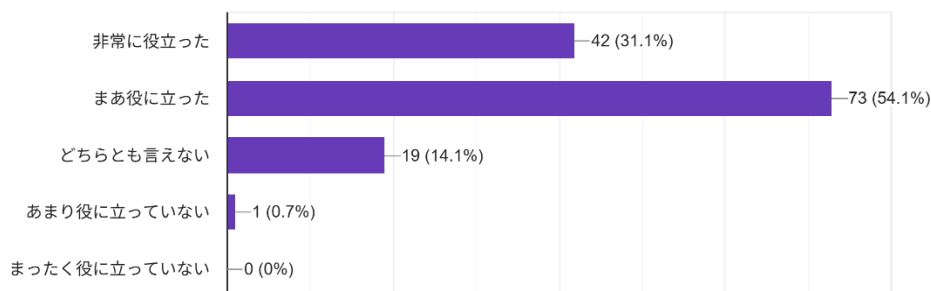
問 26. 「臨地実習」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 27. 「総合保健看護」は、あなたが看護職として仕事をしていくうえで役立ちましたか？

135 件の回答



問 28. 【保健看護学専門となる領域】の授業科目において、特に現在の職業で役に立っていると思う科目は何ですか？（科目名が分からなければ印象に残っている授業内容などを記載してください）

【32 件の回答】

- ・臨地実習（9 件） ・ライフステージと看護（2 件） ・看護論 ・ヘルスアセスメント
- ・リエゾン精神看護学 ・看護実習全般 ・基礎実習 ・急性期看護実習 ・公衆衛生看護実習 II
- ・在宅看護、実習 ・在宅看護論 ・基礎看護 ・慢性期看護論 I ・慢性期看護論 II ・家族と看護
- ・統計や看護研究 ・実習と演習、講義 ・保健看護実習 母性 ・保健看護研究 II
- ・公衆衛生看護活動論、方法論
- ・実際にどんなことをして、どんな視点で人と接していくのか、看護していくのか学べたと思う。
- ・先生方の実際の仕事でのエピソードを交えた授業が受けられたこと
- ・基礎看護の演習の場面、緊張した実習、しんどいけど無かったら考察しないだろうと眠気と闘いながら書いた実習記録

問 29. 問 28 で役に立っていると思う理由は何ですか？

【31 件の回答】

単に「現場でその知識を使った」というだけでなく、「患者との向き合い方の原点になった」「後輩や学生を指導する際の理解に役立っている」「他職種と連携する際の基盤になっている」など、年数を経てキャリアが深まるにつれて役に立っていた。

< 具体的・特徴的な意見 >

① 臨地実習・現場体験(実習全般・基礎実習)

- ・どんな座学より実習が一番役に立つ
- ・患者さんから学ばせてもらったことは座学では決して学べない
- ・看護学生の指導をする時に気持ちに寄り添う上で役立つ

② 基礎技術・思考プロセス(基礎看護・アセスメント・看護研究など)

- ・これが出来ないと何も始まらない技術だから
- ・配属先で復習する際の基礎として学びがあると深めやすかった
- ・ものの考え方に役に立っている

③ 専門領域・職種直結(在宅・母性・公衆衛生・リエゾンなど)

- ・今の分野でこの理解がないと他の専門職との連携支援に差が生まれる
- ・実際勤務した NICU や保健師としての基礎になった

- ・対対象者だけでなく、チームのメンバーにも活かせる（リエゾン）

問 30. 【保健看護学の専門となる領域】の授業科目に対するご意見をお聞かせください。

（よかった点や改善した方がよい点など）

卒業後「学んだ知識や教科書が現場で役立っている」という肯定的な評価がある一方で、「実習記録の負担（手書き問題含む）」という意見だった。記録のデジタル化や効率化を進めつつ、「災害・国際・クリティカル領域」といった時代のニーズに合わせた科目拡充を希望している。

【18 件の回答】

① 実習・記録の負担とサポート

- ・手書き記録の意味があるのかと思う
- ・当時は強い心理的な負担があったので受け入れ病棟と教員との連携が大切

② カリキュラムの評価・今後の要望

- ・配属後に教科書などが役立った
- ・災害看護や海外の医療、看護について学びたかった
- ・クリティカル部門での臨地実習を創設しても良い

③ 授業形式・教育方法への要望

- ・他職種や外部の方の話ももっとききたい
- ・自分の考えをもっと言ったり他人の意見をきく授業があればいい

問 31. 大学で受けた授業や実習の中で、あなたの看護観(看護する上で大切にしていることなど)に影響を与えた、あるいは与えた可能性のあるものはありますか？その内容をお聞かせください。

【51 件の回答】

大学の授業や実習は、「疾患を見るのではなく、患者の人生や生活を見る」という看護観に影響を与えている。また、単に成功体験だけでなく、「患者の本音に触れた葛藤」や「教員の提示した問い・言葉」が、卒業後も臨床で立ち返る「看護の原点」として長く心に残っていることが特徴的である。

① 全体像・個性・生活背景の尊重

＜主な学び・影響した内容＞

- ・疾患だけを見るのではなく、その人の人生、家族、生活背景丸ごと（「〇〇さん」として）捉える重要性。
- ・同じ患者・看護はなく、個性に応じた支援を行う姿勢。

＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・慢性期実習（糖尿病患者の理解など）
- ・在宅・訪問看護実習
- ・保健師関連の講義（「鳥の目・虫の目」）

② 傾聴・共感・押し付けない姿勢

＜主な学び・影響した内容＞

- ・患者の訴えや否定的な感情もまず受け止めること。
- ・医療側のエゴや目標を押し付けず、患者本人の「どうなりたいか」や本音に耳を傾ける姿勢。

＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・HOT 導入を嫌がるがん末期患者との関わり
- ・「痛みの訴え」に関するカンファレンス

- ・小児看護実習、精神看護実習

③ 死生観・終末期・本質的な看護

＜主な学び・影響した内容＞

- ・人生の最期に寄り添うことの重み、家族も含めた看護。
- ・知識・技術だけでなく、看護の本質（「手当て」や人として向き合うこと）への気づき。

＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・慢性期 B（終末期）実習
- ・患者の看取りや通夜への参加体験
- ・看護観・死生観の講義

④ 看護師としての役割・原点

＜主な学び・影響した内容＞

- ・「24 時間患者の一番近くにいる」存在意義。
- ・患者・家族に安心感を与える存在になること。
- ・地域・予防（0 次～3 次予防）へ目を向ける視点。

＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・講義での言葉（「看護は全てに繋がる」）
- ・編入・短大での学び
- ・総合実習での現場の声

⑤ 倫理的ジレンマ・現実との向き合い

＜主な学び・影響した内容＞

- ・人権と治療・安全の狭間で最善を考える葛藤。
- ・学生時代の理想的な看護観と、実際の現場の現実との解離を経て自分の看護観を構築した経験。

＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・精神科実習での身体拘束の目撃
- ・現場に出てからのリアリティショックと振り返り

⑥ 恩師・教員・仲間との出会い

＜主な学び・影響した内容＞

- ・自分で問いを深める大切さを教わったこと。
- ・仲間と切磋琢磨した経験、海外交流による視野の広がり。

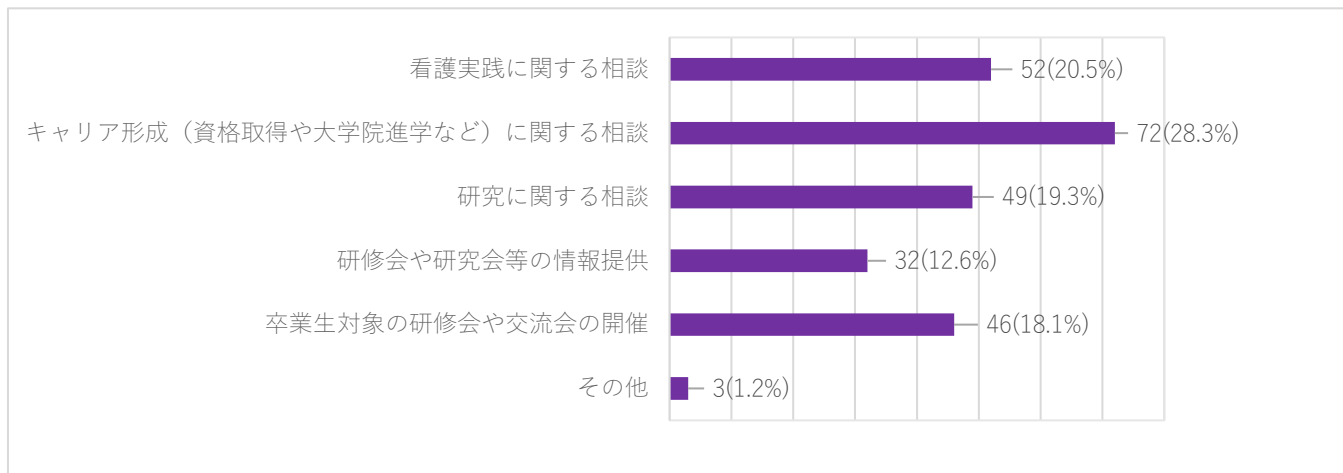
＜影響を与えた具体的なきっかけ＞

- ・恩師の講義・名言
- ・ゼミ活動、山梨大学等との交流

V. 卒業後の大学支援について

問 32. 卒業後の支援として大学に望むことを教えてください。(複数回答可)

135 件の回答

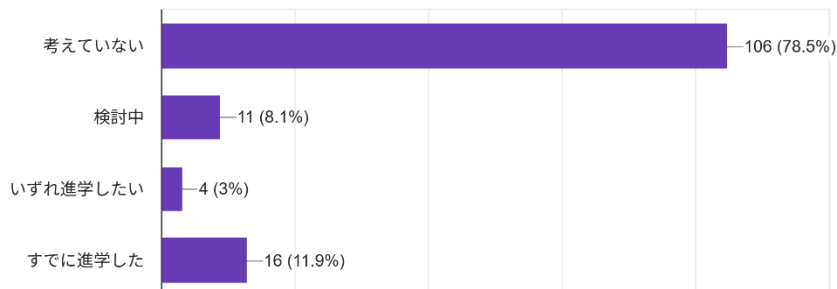


その他回答

- ・看護職から早々に離れました。一般職で働くということも大学の時点から情報として知れたら良かったです
- ・図書館の利用を職場が医大以外も同じように利用できるようなしてほしい
- ・多くの後輩たちが輩出されていることに鼓舞されるので、あり続けてもらえること自体ありがたいです

問 33. 大学院への進学を希望しますか。

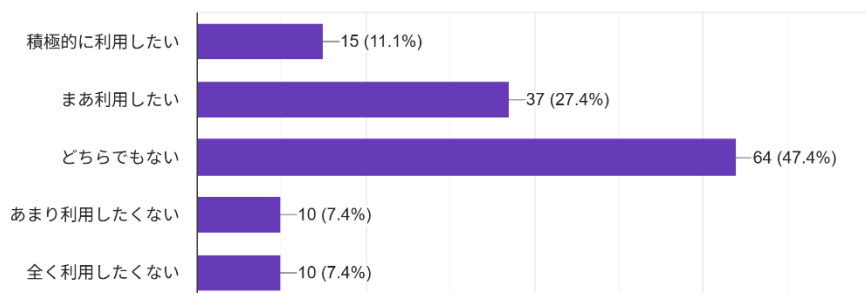
135 件の回答



問 34. 大学院に科目履修生制度がある場合、利用したいですか。

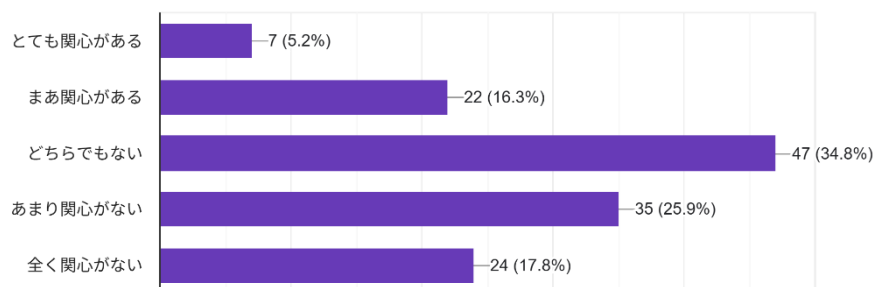
* 科目等履修生とは、正規学生以外の者として、特定の授業科目を選択し、履修して単位を取得する学生を指す。正規課程の入学に先立ち、入学前から履修を開始でき、修得した単位は入学後の単位として認められる。特定の科目のみを学びたい、入学前に授業を体験したい方という場合にも利用可。費用は履修する科目数により異なる。

135 件の回答



問 35. 本学の大学院に関心がありますか。

135 件の回答



問 36. 本学の大学院に希望することをお聞かせください。

例：どういう大学院なら行きたいと思うか、大学院に行きやすくするための方法など

【28 件の回答】

現役世代・子育て世代にとって「探求心だけでは進学へのハードルが高い」のが実情で、「働きながら・子育てしながらでも通える柔軟な環境づくり（ハード面の課題）」と「具体的に何を学べてどうキャリアに繋がるかという情報発信（ソフト面の課題）」を希望している。

<主な要望・意見の傾向>

① 授業形式・アクセスの柔軟化(オンライン・時間設定)

- ・オンライン授業の導入（遠方・県外在住者、子育て中の方から多数）
- ・仕事やシフトと調整しやすい授業スケジュール（夜間開講、時間の配慮など）

② 仕事・家庭・金銭との両立支援

- ・勤務先・企業側の理解を促す大学側の働きかけ
- ・仕事・子育てと両立できるサポート体制やカリキュラム設計
- ・修了後に給与や役職等で還元されるような価値（ハードルの高さの解消）

③ 情報提供・広報・キャリア形成

- ・どんなコースがあり、修了生がどう活躍しているか（キャリア例）の提示
- ・在学中や学部生に向けた情報発信、大学院のオープン化（発表会への参加など）

④ 専攻・研究分野・制度の充実

- ・専門領域（小児、精神、クリティカルケア等）のコース創設
- ・附属病院との連携や特色ある教育体系
- ・卒業生向けの科目等履修生制度の活用